

プログラム

ききょう記念ホール（5号館5階）

9:10-9:15 開会挨拶 例会長：北川 裕之（神戸薬科大学）

9:15-9:55

S1 特別講演1

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

糖鎖合成機構とその破綻による先天性筋ジストロフィー

遠藤 玉夫（東京都健康長寿医療センター研究所）

13:00-13:05

ご挨拶

北河 修治（神戸薬科大学 学長）

13:05-13:45

S2 特別講演2

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

硫酸化糖鎖によるオートファジーと軸索再生の制御

○門松 健治, 坂元 一真, 尾崎 智也, Yuanhao Gong
(名古屋大学大学院医学系研究科)

13:45-15:05

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業講演

北川 裕之 (神戸薬科大学 学生化学研究室)
江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学研究室)
宮田 興子 (神戸薬科大学 薬品化学研究室)
田中 将史, 向 高弘 (神戸薬科大学 薬品物理化学研究室)

15:40-16:20

S3 特別講演3

座長：江本 憲昭（神戸薬科大学）

多能性幹細胞の心血管分化機構と再生医療応用

山下 潤（京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門）

16:20-17:00

S4 特別講演4

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

中枢神経回路の障害と修復を制御する生体システム

山下 俊英（大阪大学大学院 医学系研究科 分子神経科学）

17:00-17:40

S5 特別講演5

座長：小西 守周（神戸薬科大学）

α -Klotho の分子機能解析 — 蛋白質間相互作用における糖鎖の新たな機能 —

鍋島 陽一（先端医療センター研究所）

17:40-18:20

平成28年度近畿支部奨励賞授賞式および受賞記念講演

贈呈者および座長：支部長 三善 英知（大阪大学）

線維前駆中間体の観察によるアミロイド線維の伝播およびその発現機構の解明

茶谷 絵理（神戸大学大学院理学研究科）

モヤモヤ病の鍵因子ミステリンの同定と解析

森戸 大介（京都産業大学 総合生命科学部）

一般演題

★が付いた演題は優秀発表賞候補者演題（学部生と大学院生が筆頭著者の演題）です

A 会場（4号館3階 講義室K430）

一般演題（口頭発表）午前の部：10:05～11:45

座長：力武 良行（神戸薬科大学），天野 富美夫（大阪薬科大学）

10:05-10:15

A01 IFN- γ -producing B cells induce the formation of gastric lymphoid follicles after *Helicobacter suis* infection

○山本幸司，東健
神戸大・院医・消化器

10:15-10:25

★A02 スキルス胃癌細胞に対する特異抗体が認識する抗原 gp200 の精製について

○松山千容¹，大谷水景¹，玉木理衣^{1,2}，住吉大地¹，森愛弥¹，川上智也¹，小池敦資¹，
藤森功¹，柳原五吉^{1,3}，天野富美夫¹

¹大阪薬大・生体防御学，²神戸医療センター中央市民病院，³国立がん研究センター東病院

10:25-10:35

★A03 ヒトスキルス胃癌細胞株、HSC-39 細胞由来の 5-フルオロウラシル及びシスプラチン耐性変異株の樹立について

○奥中真白¹，玉木理衣^{1,2}，小池敦資¹，森重雄太¹，藤森功¹，柳原五吉^{1,3}，天野富美夫¹

¹大阪薬大・生体防御学，²神戸医療センター中央市民病院，³国立がん研究センター東病院

10:35-10:45

★A04 ヒトスキルス胃がん細胞株、HSC-39 細胞を用いた、コラーゲンが薬剤耐性に及ぼす影響

○中代里美¹，玉木理衣²，柳原五吉³，小池敦資¹，天野富美夫¹

¹大阪薬大・生体防御，²神戸医療センター中央市民病院，³国立がん研究センター・東病院

10:45-10:55

A05 抗がん剤抵抗性に及ぼす Hsp105 α の核局在化の関与

○齊藤洋平，山根鉄平，島田雅史，加藤圭穂，久家貴寿，中山祐治
京都薬大・生化学

10:55-11:05

★A06 ヒト肺がん由来 A549 細胞を用いた耐性度の異なる CDDP 耐性細胞の樹立とその特性

○和田諭可子¹，堀部紗世¹，中原諒子¹，平沼朋子¹，河内正二²，力武良行¹

¹神薬大・医療薬学，²神薬大・臨床教育センター

11:05-11:15

★A07 血清除去による Mac-2 binding protein の発現誘導とその生物学的機能の解析

○深谷莉紗子，前川友裕，高松真二，鎌田佳宏，三善英知
大阪大学大学院・医学系研究科・機能診断科学

11:15-11:25

★A08 RSK による EphA2 のリン酸化とグリオブラストーマ細胞の増殖制御

○濱岡裕穂¹, 根岸学^{1,2}, 加藤裕教^{1,2}

¹京都大・院薬・神経機能制御学, ²京都大・院生命・生体システム学

11:25-11:35

★A09 VEGF-A/NRP1 シグナルの阻害はがん細胞の増殖と転移を抑制する

○山根銀平¹, 吉田亜佑美², 清水昭男³, 門之園哲哉⁴, 近藤科江⁴, Michael Klagsbrun⁵, 瀬尾美鈴^{1,5}

¹京産大・総合生命・生命システム, ²国循・分子病態, ³滋賀医大・分子病態, ⁴東工大・生命理工学, ⁵Children's Hospital Boston, Harvard Medical School

11:35-11:45

★A10 脂質型 CA19-9 の膜輸送に関わる新規キャリア候補タンパク質 CABIN の機能解析

○赤松佑香, 浅澤瞳美, 峰平朋美, 澤登温子, 小泉百花, 魚住尚史, 高松真二, 鎌田佳宏, 三善英知

大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学講座

一般演題（口頭発表）午後部：13:05 ～15:05

座長：井原 義人（和歌山県立医科大学），栗原 達夫（京都大学）

13:05-13:15

★A11 エクソソームの細胞内取り込み能とレシピエント細胞のカベオリン-1発現との関連

○田中一也¹, 堀部紗世¹, 清田実希¹, 松尾杏奈¹, 河内正二², 力武良行¹

¹神薬大・医療薬学, ²神薬大・臨床教育センター

13:15-13:25

★A12 低温菌 *Shewanella livingstonensis* Ac10 の菌体外膜小胞の特性とエイコサペンタエン酸が小胞形成に与える影響の解析

○横山文秋¹, 川本純¹, 今井友也², 小川拓哉¹, 栗原達夫¹

¹京都大学化学研究所, ²京都大学生存圏研究所

13:25-13:35

★A13 Free glycosylphosphatidylinositols are abnormally accumulated on the cell surface of GPI transamidase defective mammalian cells

○Yicheng Wang, Tetsuya Hirata, Yusuke Maeda, Yoshiko Murakami, Taroh Kinoshita

WPI iFReC and Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan

13:35-13:45

★A14 PGAP6 is involved in shedding of GPI-anchored protein, CRIPTO, which regulates Nodal signaling.

○Gun-Hee Lee¹, Morihisa Fujita², Yoshiko Murakami¹, Noriyuki Kanzawa¹, Yusuke Maeda¹, Taroh Kinoshita¹

¹WPI Immunology Frontier Research Center and Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, ²School of Biotechnology, Jiangnan University

13:45-13:55

A15 「観るだけでわかるタンパク質間相互作用解析法」の開発と繊毛内タンパク質輸送複合体 IFT-B の構築様式の解明

○加藤洋平, 寺田将也, 中山和久
京大・院薬・生体情報

13:55-14:05

★A16 KIF17 と IFT 複合体の相互作用様式の解明と繊毛内輸送における役割

○船橋輝記, 加藤洋平, 中山和久
京大・院薬・生体情報

14:05-14:15

★A17 Rab11a は小腸において apical 膜タンパク質の局在を制御する

○前田知美^{1,2}, 傍嶋智明^{1,2}, 吉村信一郎¹, 國井政孝¹, 森脇健太¹, 北野真郷^{1,2},
岩城彩乃^{1,2}, 三善英知², 原田彰宏¹
¹阪大・院医・細胞生物, ²阪大・院医・機能診断科学

14:15-14:25

A18 プロテオグリカンの糖鎖修飾の転写を調節する新規ゴルジ体ストレス応答経路の解析

○谷口麻衣, 小森亮太, 奥田知穂, 田中隆也, 中川幸大, 濱田響, 佐々木桂奈江,
若林貞夫, 吉田秀郎
兵庫県大・院・生命理学

14:25-14:35

★A19 細胞外マトリクス mindin の分泌経路における C-mannosyl 化の作用

○上田佳奈¹, 井内陽子², 持田沙織³, 村田顕優³, 松井仁淑², 南方志帆², 田尻道子⁴,
和田芳直⁴, 井原義人²
¹和歌山県医大・医・学部6年, ²和歌山県医大・医・生化, ³和歌山県医大・医・大学院準備課程, ⁴大阪府立母子医療セ

14:35-14:45

★A20 カルレティキュリンはヒト絨毛細胞株 (HTR8/SVneo) において細胞浸潤能に関与する

○山本円¹, 池崎みどり², 岩橋尚幸¹, 南條佐輝子¹, 井篁一彦¹, 井原義人²
¹和歌山県医大・医・産婦, ²和歌山県医大・医・生化

14:45-14:55

★A21 メダカを用いた小胞体ストレス由来のアポトーシスの解析、及びアポトーシス可視化メダカの作製

○陳炳碩, 石川時郎, 岡田徹也, 森和俊
京大・院理・生物物理

14:55-15:05

★A22 遺伝学および化学的手法を用いた線虫精細胞の活性化機構の解析

○田島達也¹, 中村匠吾¹, 太田拳斗¹, 荒崎彩音¹, 中西加純¹, 小川風太², 表雅章²,
西村仁¹
¹摂南大・院理工・生命科学, ²摂南大・院薬・医療薬学

B 会場（4号館4階 講義室K440）

一般演題（口頭発表）午前の部：10:05～11:45

座長：朝日 通雄（大阪医科大学），三善 英知（大阪大学）

10:05-10:15

★B01 高硫酸化コンドロイチン硫酸による神経細胞の極性形成制御機構の解析

○志田美春，三上雅久，北川裕之
神戸薬大・生化

10:15-10:25

★B02 OTX2 蛋白質の PV 陽性細胞近傍への局在を決定するコンドロイチン硫酸の構造は何か？

○大橋和佳，野村綾香，加藤由佳，宮田真路，山本和樹，平岡秀一，北川裕之
神戸薬大・生化

10:25-10:35

★B03 コンドロイチン硫酸鎖の発現量調節を介した骨格筋分化促進メカニズムの解析

○山田敦子，松浦伸明，今村香奈実，吉川泰樹，三上雅久，北川裕之
神戸薬大・生化

10:35-10:45

B04 糖ヌクレオチド輸送体 Slc35d1 は腸管ホメオスタシスに必要である

○平岡秀一¹，杉野太亮¹，三上知佳¹，西山美紀¹，古関明彦²，北川裕之¹
¹神戸薬科大・生化学，²理研IMS・免疫器官形成

10:45-10:55

★B05 Chondroitinase ABC Prevented Chondroitin Sulfate

N-Acetylgalactosaminyl-transferase 2 (ChGn-2) Effect on Macrophage Oxidized-Low Density Lipoprotein Uptake in Atherosclerosis Progression

○Imam Manggalya Adhikara¹，Keiko Yagi²，Kyoko Shinohara²，Hirotohi Fujita²，Naoki Yokoyama²，Yoko Suzuki¹，Koji Ikeda²，Ken-ichi Hirata¹，and Noriaki Emoto²

¹Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan; ²Clinical Pharmacy, Kobe Pharmaceutical University, Kobe, Japan

10:55-11:05

★B06 炎症性腸疾患の発症に関わるコアコースの役割について

○上田優衣¹，藤井宏修¹，新崎信一郎²，飯島英樹²，鎌田佳宏¹，辻井正彦²，竹原徹郎²，三善英知¹

大阪大学院医学系研究科，¹機能診断科学講座，²消化器内科学講座

11:05-11:15

★B07 糖転移酵素Fut8の肝細胞脂質代謝に及ぼす影響について

○藤好杏奈，鎌田佳宏，山本晃子，戎谷友佑，藤井宏修，高松真二，三善英知
大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

11:15-11:25

B08 脳における*N*-グリコシルノイラミン酸の発現は生体にとって負に働く

○内藤裕子^{1,4}, Leela Davies¹, 竹松弘^{1,5}, Hsun-Hua Chou¹, Pam Tangvoranuntakul¹, Charles Heyser², Aaron Carlin¹, Andrea Verhagen¹, Pascal Gagneux^{1,3}, Ajit Varki^{1,3}

¹カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)・医, ²Neuroscience Behavioral Testing Core, UCSD, ³Glycobiology Research and Training Center, UCSD, ⁴神薬大・生化, ⁵京大・院医

11:25-11:35

B09 グリコシル化 EWS の化学量論的解析

○亀村和生

長浜バイオ大・院バイオサイエンス・細胞制御

11:35-11:45

B10 大腸癌細胞株LoVo細胞においてAMPKの*O*-GlcNAc修飾は腫瘍増殖を促進させる

○石村恵美^{1,2}, 中川孝俊¹, 朝日通雄¹

¹大阪医科大学医学部薬理学, ²愛仁会尼崎だいまつ病院

一般演題 (口頭発表) 午後の部 : 13:05 ~15:05

座長 : 増井 良治 (大阪市立大学), 板野 直樹 (京都産業大学)

13:05-13:15

★B11 リゾスフィンゴ糖脂質サイコシンは、分裂溝における PIP₂ の産生を抑制することでエンドマイトーシスを誘導する

○渡邊寛¹, 小林俊秀², 岡昌吾¹, 竹松弘¹

¹京大・院医, ²理化学研究所

13:15-13:25

★B12 ヘキソサミン合成経路による上皮-間葉転換制御機構

○東出実歩, 望月信利, チャンミー シーラウト, 板野直樹

京産大・総合生命

13:25-13:35

B13 異なる細胞内局在を示す2つのトランスアルドラーゼが糖代謝全体に影響を及ぼす

○盛山哲嗣¹, 田中秀², 中山泰宗³, 福本昌宏², 辻村賢二², 山田幸司¹, 馬場健史³, 米田悦啓^{4,5}, 福崎英一郎³, 岡正啓^{1,5}

¹ (国研) 医薬健康研・細胞核輸送 D, ² 阪大院・生命機能・細胞内移動学, ³ 阪大院・工学・生物工学・生物資源工学領域, ⁴ (国研) 医薬健康研, ⁵ 阪大院・薬学・NIBIOHN

13:35-13:45

★B14 細胞質型ホスホリパーゼA₂の分解機構の解明

○櫻本翔子, 辻田彩夏, 天野富美夫, 藤森功

大阪薬科大・院薬・生体防御

13:45-13:55

★B15 メタノール資化酵母および昆虫細胞におけるヒト Lysoplasmalogenase の発現

○國澤卓磨, 河合優太, 竹中重雄, 小森雅之
阪府大・生環・獣医・分生

13:55-14:05

B16 電位依存性ホスファターゼVSPとPTENに共通する膜との相互作用部位の重要性

○川鍋陽, 米澤智子, 岡村康司
阪大・院医・統合生理

14:05-14:15

★B17 造血型プロスタグランジンD合成酵素と補酵素・基質の分子認識機構と反応機構の解明

○浅田恵佑¹, 大野木友大¹, 丸野孝浩², 小林祐次², 有竹浩介³, 裏出良博³, 日高雄二¹, 島本茂¹
¹近大・院理工, ²阪大・院工, ³筑波大・国際統合睡眠医科学研究機構

14:15-14:25

B18 分子進化解析を利用した B 群レンサ球菌のシアル酸分解酵素が病原性に果たす役割の解明

○山口雅也, 広瀬雄二郎, 中田匡宣, 後藤花奈, 住友倫子, 川端重忠
阪大・院歯・口腔細菌

14:25-14:35

★B19 高度好熱菌 *Thermus thermophilus* HB8由来の新奇なDNA結合タンパク質 (TkaP) の構造・機能的解析

○高尾和也¹, 飯尾洋太², 井上真男², 藤井裕己³, 倉光成紀², 増井良治¹
¹大阪市大・院理, ²阪大・院理, ³阪大・院生命機能

14:35-14:45

★B20 高度好熱菌Protein kinase TpkDの構造安定性に対するリガンドの効果

○藤野友輔¹, 宮川武朗², 井上真男³, 藤井裕己², 倉光成紀³, 増井良治¹
¹大阪市大・院理, ²阪大・院生命機能, ³阪大・院理

14:45-14:55

B21 *Staphylococcus aureus* の温度刺激による抵抗性の変化

○川井真好¹, 通山由美²
¹姫路獨協大・薬・衛生・微生物, ²姫路獨協大・薬・生化

14:55-15:05

★B22 メッシュ状金属薄膜を用いたエアロゾルの分離・検出と生化学的分析

○山本晃毅¹, 白井恵美¹, 井上有香¹, Ernest Wandera², 一瀬休生², 神波誠治³, 近藤孝志³, 長谷川慎¹
¹長浜バイオ大学・院・バイオサイエンス, ²長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点, ³(株)村田製作所

C 会場（4号館5階 講義室K450）

一般演題（口頭発表） 午前の部：10:05～11:45

座長：小西 守周（神戸薬科大学），瀬尾 美鈴（京都産業大学）

10:05-10:15

★C01 カルマン症候群原因遺伝子産物Anosmin-1はNetrin-1と相互作用し嗅神経の伸長を促進する

○和田千菜津¹，清水昭男^{1,2}，浅野弘嗣¹，石井泰雄¹，木田朱音¹，安木実悠¹，徳村脩人¹，小野勝彦³，村上志津子⁴，佐藤直子⁵，瀬尾美鈴¹

¹京産大・総合生命・生命システム，²滋賀医大・分子病態生化学，³京都府立医・神経発生生物，⁴順天堂大医・神経生物，⁵東大医・小児

10:15-10:25

★C02 Anosmin-1の血管内皮細胞に対する生理活性の検証とそのシグナル伝達経路の解析

○松島章子¹，清水昭男^{2,3}，浅野弘嗣²，近藤真菜美¹，瀬尾美鈴^{1,2}

¹京産大・院・生命科学，²京産大・総合生命・生命システム，³滋賀医大・分子病態生化学

10:25-10:35

★C03 Hippoシグナル伝達経路におけるMASK1およびMASK2の機能解析

○中村圭佑，出口幸大，西良太郎，堀利行
立命館大・生命・生医

10:35-10:45

C04 常染色体劣性骨格異形成症の原因遺伝子である Glypican-6 の hedgehog シグナル伝達における制御機構の解析

○Tomomi Izumikawa, Mariana Capurro, Wen Shi, and Jorge Filmus

Biological Sciences, Sunnybrook Research Institute, and Department of Medical Biophysics, University of Toronto

10:45-10:55

C05 新規糖鎖ユニット“リピトールリン酸”の同定と筋ジストロフィーへの関与

○金川基¹，小林千浩¹，田尻道子²，萬谷博³，久我敦¹，山口芳樹⁴，和田芳直²，遠藤玉夫³，戸田達史¹

¹神戸大・院医・分子脳/神経内科，²大阪母子セ・代謝，³東京健康長寿医療セ・老化機構，⁴理研グローバル・糖鎖構造生物

10:55-11:05

C06 FGF21は胸腺細胞の成熟化を促進する

○中山喜明¹，増田有紀¹，伊藤信行²，小西守周¹

¹神薬大・薬・微生，²京大・院医・MIC

11:05-11:15

★C07 筋肉の増加減退に関わるRhoAの機能解析と相互作用分子の探索

○櫛谷晃帆¹，上田修司¹，加藤良毅¹，桐村悠佑¹，石政碧¹，吉野健一^{2,3}，竹内敦子⁴，山之上稔¹，白井康仁¹

¹神戸大・院農・動物資源，²神戸大・バイオシグナル，³神戸大・院医，⁴神戸薬大

11:15-11:25

★C08 心臓特異的ミオシン軽鎖キナーゼ (cMLCK) 賦活剤の開発

○宇山侑希¹, 塚本蔵¹, 菅裕明², 高島成二¹

¹大阪大学・生命機能研究科, ²東京大学・理学系研究科

11:25-11:35

★C09 新規好中球活性化ペプチド、マイトクリプタイド-2の構造活性相関の検討

○西野弘大, 丸谷飛之, 堤光己, 服部竜弥, 木曾良明, 向井秀仁

長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 ペプチド科学研究室

11:35-11:45

C10 表面プラズモン共鳴法を用いた薬剤の薬効メカニズム解明及び毒性予測評価に関する研究

○木内啓貴^{1,2}, 有本博一³, 西口賢三¹, 松山恵吾¹, 岡雅子¹, 卷秀樹¹, 北川裕之², 上森浩¹

¹塩野義製薬株式会社, ²神戸薬科大・院薬・生化, ³東北大・院生命科学・分子生命科学

一般演題 (口頭発表) 午後の部 : 13:05 ~15:05

座長 : 亀井 加恵子 (京都工芸繊維大学), 扇田 久和 (滋賀医科大学)

13:05-13:15

★C11 乳酸菌(*Pediococcus acidilactici* R037)は免疫寛容樹状細胞を誘導し動脈硬化を抑制する

○溝口泰司, 笠原和之, 山下智也, 佐々木直人, 江本拓央, 松本卓也, 林友鴻, 吉田尚史, 平田健一

神戸大学医学部循環器内科学分野

13:15-13:25

★C12 低酸素は血管内皮細胞のAxin-1発現を誘導し、Wnt/ β -cateninシグナルを抑制することで肺微小血管の傷害を増悪させる

○中尾宥介, 池田宏二, 八木敬子, 江本憲昭

神薬大・院薬・臨床薬学

13:25-13:35

C13 Dipeptidyl peptidase IIIによるアンジオテンシンII分解の生化学的解析と高血圧マウスモデルにおける降圧作用の検討

○清水昭男¹, Xiaoling Pang¹, 栗田宗一¹, 竹内圭介¹, 石田哲生², 扇田久和¹

¹滋賀医大 生化分子生物 分子病態, ²琉球大学 理 海洋自然科学 化

13:35-13:45

★C14 Angiogenic Adipokine Neuregulin-4 Ameliorates Adipocyte Dysfunction by Regulating Adipose Tissue Angiogenesis

○Masahiro Tsuji¹, Dhite Bayu Nugroho^{1,2}, Koji Ikeda¹, Ken-Ichi Hirata², Noriaki Emoto¹

¹Kobe Pharmaceutical University・Clinical Pharmacy, ²Kobe University Graduate School of Medicine・CV medicine

13:45-13:55

★C15 Vascular senescence-messaging secretome disrupts metabolic function of adipocytes; A novel mechanism in metabolic disorders associated with aging

○Agian Jeffilano Barinda^{1,2}, Koji Ikeda¹, Ken-Ichi Hirata², Noriaki Emoto¹

¹Kobe Pharmaceutical University · Clinical Pharmacy,

²Kobe University Graduate School of Medicine · CV medicine

13:55-14:05

C16 エイコサペンタエン酸 (EPA) が血清中性脂肪を低下させる分子メカニズムの解明: Carbohydrate response element-binding protein (ChREBP) の分解機構の解明

○中川勉^{1,2}, 崎山晴彦³, 山本和宏², 藤原範子³, 鈴木敬一郎³, 平井みどり^{1,2}

¹神大・院医・薬物動態学, ²神大病院・薬, ³兵医大・生化

14:05-14:15

★C17 Fam13a regulates lipolysis by modulating ATGL expression in mature adipocytes to preserve metabolic homeostasis

○Donytra Arby Wardhana^{1,2}, Koji Ikeda¹, Ken-Ichi Hirata², Noriaki Emoto¹

¹Kobe Pharmaceutical University · Clinical Pharmacy,

²Kobe University Graduate School of Medicine · CV medicine

14:15-14:25

★C18 A *Drosophila* model for screening anti-obesity agents

○Tran Thanh Men¹, Masamitsu Yamaguchi², and Kaeko Kamei¹

¹Dept. Biomol. Eng., ²Dept. Applied Biol., Kyoto Inst. Technol.

14:25-14:35

★C19 膵β細胞モデル MIN6 におけるセレノプロテイン P 発現の意義

○中尾昌平, 三田雄一郎, 野口範子, 齋藤芳郎

同志社大学・院・生命医・システム生命科学

14:35-14:45

★C20 ビタミンEによる糖尿病性腎症改善機構の解明

○林大輝¹, 八木敬子², 上田修司¹, 山之上稔¹, 江本憲昭², 齋藤尚亮³, 白井康仁¹

¹神戸大・院農・動物資源, ²神戸薬大・臨床薬学, ³神戸大・バイオシグナル

14:45-14:55

C21 分泌性因子neudesinの遺伝子欠損マウスでは白色脂肪の褐色化が亢進した

○太田紘也^{1,2}, 齋藤優太¹, 中山喜明¹, 増田有紀¹, 木村郁夫³, 伊藤信行⁴,
小西守周¹

¹神戸薬大・微生物化学, ²名大・環医研, ³東京農工大院・農・応用生命,

⁴京大院・医・メディカルイノベーションセンター

14:55-15:05

★C22 不飽和脂肪酸負荷より誘導されるFgf21の脂質代謝調節機構の解析

○藤岡広大¹, 松家京介¹, 伊藤信行², 中山喜明¹, 小西守周¹

¹神薬大・薬・微生, ²京大・院医・MIC

D 会場 (4号館3階 講義室K432)

一般演題 (口頭発表) 午前の部: 10:05 ~11:45

座長: 長谷川 潤 (神戸薬科大学), 古川 貴久 (大阪大学)

10:05-10:15

D01 ストレスによる脳白質オリゴデンドロサイト機能変化の分子機序

○宮田信吾¹, 清水尚子¹, 田中貴士¹, 遠山正彌^{1,2}
¹近大・東医・分子脳科学, ²大阪府立病院機構

10:15-10:25

★**D02** 網膜視細胞の成熟における転写因子Mef2dの機能と視細胞変性

○上野明希子, 大森義裕, 北村民樹, 茶屋太郎, 古川貴久
大阪大学 蛋白質研究所 分子発生学研究室

10:25-10:35

★**D03** Prdm13による網膜のアマクリン細胞サブタイプ分化の制御と視覚応答感度調節

○久保竣, 杉田祐子, 小塚孝司, 古川貴久
大阪大学・蛋白質研究所・分子発生学研究室

10:35-10:45

D04 ラット視交叉上核における時計遺伝子概日振動の *in vivo* リアルタイム計測

○山口賀章^{1,2}, 岡田和樹¹, 水野貴暢¹, 程肇³, 重吉康史⁴, 小林正樹⁵, 岡村均^{1,2}
¹京都大・院薬・システムバイオ, ²科学技術振興機構, ³金沢大・理工・自然システム,
⁴近畿大・医・解剖, ⁵東北工業大・院工・電子工学

10:45-10:55

★**D05** アホロートルTRPA1の機能解析

○織田麻衣, 齊藤修
長浜バイオ大・院・バイオサイエンス

10:55-11:05

D06 クラスリン非依存性エンドサイトーシス経路による神経成熟の制御機構

鹿内弥磨¹, 鍋島陽一², 柚崎通介¹, 川内健史^{1,2}
¹慶応大・医・生理, ²先端医療センター研究所・医薬品開発研究グループ

11:05-11:15

D07 神経突起伸長における細胞膜ダイナミクスによる細胞骨格制御機構

○鈴木篤史^{1,2}, 長谷川潤^{1,2}
¹神戸薬大・環境衛生化学, ²筑波大・医学医療・生化

11:15-11:25

D08 脊髄性筋萎縮症 (SMA) のヒト神経細胞モデル作製と表現型の解析

○島亜衣¹, 森田寛之², 西尾久英¹, 通山由美²,
¹神大・院医・疫学, ²姫路獨協・薬・生化

11:25-11:35

D09 KIF 20A (Kinesin family member 20A) の分化と細胞分裂への影響

○森田寛之, 有馬太陽, 佐々木彪曜, 松本隆太郎, 田畑裕幸, 通山由美
姫路獨協・薬学・生化

11:35-11:45

★D10 新規アミロイド構造プローブとしてのヨウ素染色の有用性評価
及び染色メカニズムの解析

○平松貴人¹, Ha Seongmin¹, 増田裕輝¹, 安田充², 尾崎幸洋², 茶谷絵理¹
¹神戸大・院理・化, ²関西学院大・院理工

★D11 ポスター発表のみの演題

脂質存在下における血清アミロイドAの酵素消化とそれに及ぼす脂質組成の影響

○中村友紀, 高瀬ひろか, 田中将史, 向高弘
神戸薬大・物化

一般演題（口頭発表）午後部：13:05～15:05

座長：今西 未来（京都大学），西澤 幹雄（立命館大学）

13:05-13:15

D12 ミドリサングの乳液のトランスクリプトームとプロテオーム解析

○北島佐紀人¹, 三浦謙治², 青木航^{3,4}, 大和勝幸⁵, 平良東紀⁶, 村上隆太¹, 油屋駿介³
¹京工織大・応用生物, ²筑波大・生命環境, ³京都大・農,
⁴京都バイオ計測センター, ⁵近畿大・生物理工, ⁶琉球大・農

13:15-13:25

★D13 オウヒの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果

○山内優子¹, 奥山哲矢¹, 池谷幸信², 西澤幹雄¹
¹立命館大・生命・医化学, ²立命館大・薬・生薬

13:25-13:35

★D14 フェリチンドメインを持つ新規な植物タンパク質の機能解析

○今村大樹¹, 飯伏純平¹, 池永誠², 橘洋一², 安藤信幸², 大藪泰², 廣岡青央², 椎名隆³,
石崎陽子³, 北島佐紀人¹
¹京工織大院・応用生物学, ²京都市産技研, ³京都府大・環境情報科学

13:35-13:45

D15 ポウフウから単離された成分の分子構造と一酸化窒素産生誘導の抑制活性の相関

○奥山哲矢¹, 下倉敏裕¹, 神野拓也^{1,2}, 池谷幸信², 西澤幹雄¹
¹立命館大・生命・医化学, ²立命館大・薬・生薬

13:45-13:55

★D16 潰瘍性大腸炎モデルマウスに対する青黛の効果とその有効成分の探索

○小澤佳¹, 乾里帆¹, 山内優子¹, 高坂和芳¹, 奥山哲矢¹, 池谷幸信², 西澤幹雄¹, 田中秀
和¹
¹立命館大・院生命科学・生医, ²立命館大・薬・薬

13:55-14:05

★D17 Interaction of potential hepatotoxic ingredients of Traditional Chinese Medicine with
liver drug transporters OATP1B1 and MDR1

○Lili Quan¹, Zijie Song², Yueqing Zhou², Ryuichi Ohgaki¹, Shushi Nagamori¹, Xin He², Yoshikatsu
Kanai¹
¹大阪大・院医・生体システム薬理学, ²天津中医薬大・院中薬・薬理

14:05-14:15

★D18 Toxin-Antitoxinの相互作用阻害剤のスクリーニングシステムの構築

○江川広紀¹, 山口良弘², 波多野和樹³, 五十嵐雅之³, 内海龍太郎¹

¹近畿大・院農・バイオ, ²大阪市大・複合先端研, ³微化研

14:15-14:25

★D19 新規ヒスチジinkinase阻害剤waldiomycinの細菌細胞内での作用機構

○長尾勇希¹, 村井春香¹, 清水莉子¹, 植田修平¹, 木下英司², 五十嵐雅之³, 江口陽子^{1,4},
内海龍太郎¹

¹近畿大・院農・バイオ, ²広島大, ³微化研, ⁴近畿大・生物理工

14:25-14:35

★D20 5,10,15,20-テトラフェニル-21H,23H-ポルフィン塩化鉄(III), ヨードシルベンゼン, エタノール反応溶液中に生成する酸素中心エタノールラジカル

○西崎大祐, 岩橋秀夫

和医大・院医・生体分子解析学

14:35-14:45

★D21 α -リノレン酸, γ -リノレン酸およびそれらの混合溶液と鉄イオンとの反応によるラジカル生成の比較

○松井有史^{1,2}, 岩橋秀夫¹

¹和医大・医学研究科・生体分子解析学, ²和歌山国際厚生学院

14:45-14:55

★D22 RNA結合タンパク質PUM-HDの認識塩基拡張

○篠田昂樹, 今西未来, 二木史朗

京大・化研

14:55-15:05

★D23 MMLV逆転写酵素の無細胞タンパク質合成系の構築とマイクロアレイへの応用

○片野裕太¹, 久好哲郎¹, 久世郁美¹, 岡野啓志¹, 伊東昌章², 西垣功一³, 滝田禎亮¹,
保川清¹

¹京大院農, ²沖縄高専, ³産総研

D24 ポスター発表のみの演題

医薬品創製を指向した新規ヘテロ環化合物群の合成

○上田昌史, 伊藤勇太, 杉田翔一, 武田紀彦, 宮田興子

神戸薬大・薬・薬品化学

ポスター会場（6号館2階 ラウンジ）

12:00-13:00 一般演題（ポスター発表）

12:00-12:30 奇数の演題番号の発表者はポスター前で待機してください。
12:30-13:00 偶数の演題番号の発表者はポスター前で待機してください。

12:00-13:00 高校生ポスター発表 発表者はポスター前で待機してください。

15:05-15:30 自由討論

一般演題および高校生ポスター発表ともに、発表者はポスター前で待機してください。

優秀発表賞

一般演題のポスターは終日掲示し、その内容を評価して、投票により「優秀発表賞」を決定します。参加者の先生方におかれましては、審査にご協力を賜りたく何卒よろしくお願い申し上げます。

- (1) 対象は学生（学部生と大学院生）の筆頭著者とします。プログラムの演題番号に★が付いた演題あるいは講演要旨の演題番号の上に「優秀発表賞候補者演題」と記載された演題が審査対象になります。
- (2) 参加者全員（学部生・大学院生・高校生を除く）に投票権があります。受付時に投票用紙を一人1枚お渡しします。投票箱はポスター会場の受付に設置します。投票締切は 17:30 です。
- (3) 審査方法：ポスターの見栄えでなく、研究内容を評価して下さい。成果の素晴らしさだけが評価ポイントではなく、現在まだ成果を得るに至っていない黎明期の研究であったとしても、発表者が研究内容を深く理解し、独創的な着想や研究の組み立て方で研究が進められていた場合は優秀発表賞の候補とすることも可能です。また、異分野の研究者にも興味をもってもらえるようなわかりやすい発表であったかどうかについても評価の対象として下さい。